

第6章 県民の皆さんへのメッセージ

青少年を健全に育成するためには、行政はもとより、家庭や地域、学校、企業等がそれぞれの役割を果たしながら、相互に連携・協力して取組を進めていくことが大切です。

そのためには、県民一人一人が青少年の健全育成の必要性等について理解し、自主的、主体的に様々な施策に取り組むことが何より大切です。

本章では、県民の皆さんへのメッセージとして、青少年、家族・保護者や地域の皆さんがそれぞれの立場で実践していただく事項を提案することにより、県民総ぐるみでの青少年健全育成の取組の輪が広がることを期待します。

1 青少年の皆さんに期待すること

次代を担う青少年の皆さんは、皆さん自身が積極的に行動することが求められており、相手のことを尊重し、お互いの多様性を認め、思いやりの心を持って自立した大人として成長していくことを期待します。

【「生き抜く力」を身につけること】

- 早寝・早起きをして、規則正しい生活習慣を身に付けましょう。
- 周りの人への思いやりを大切にし、人の痛みがわかる心を持ちましょう。
- 自他を大切にするための忍耐力を身につけましょう。
- あいさつ等、お互いに信頼しあえる人間関係の持ち方を身につけましょう。
- 人の意見をよく聞いて、互いの立場や考え方を認めあいましょう。
- パソコンやスマートフォン等でSNSやインターネット等を利用するときは、親や学校や友達の意見を聞きながら、ルールを決めて適正に利用しましょう。
- 自ら学び、自ら考え、自分の意見をきちんと言えるようになりましょう。

2 家庭・保護者の皆さんに期待すること

青少年が人格を形成し、人間関係を築いていくうえで、最も重要な役割を果たす場は家庭です。青少年を健やかに育むためには、親の育児力や教育力の向上が求められています。

特に、精神的健康の基礎となる自尊感情、社会にはばたく上で必要となるコミュニケーション能力等の基礎を家庭において身に付けさせることを期待します。

【親の責務を自覚すること】

- 子どもを一人の人間として尊重し、愛情を持って守り育てましょう。

- 発達段階や個性に応じ、睡眠や食事（早寝・早起き・朝ごはん）、規則正しい生活リズムといった基本的な生活習慣を身につけさせましょう。
- 先回りせず、子どもにまずやらせてみて、成功すればともに喜び、失敗すれば学びがあることを伝えましょう。
- 子どもと対話できる環境をつくり、子どもが悩んでいる時は相談に乗りましょう。
- 社会全体で子どもの育ちを応援するという観点から、他人の子どもにも関心を向けるとともに、子ども会やPTA等の青少年育成活動に積極的に参加しましょう。
- 夫婦が互いに理解・尊重しあい、子どもの生き方の模範となりましょう。
- スマートフォンの普及拡大等に伴うSNS利用の急速な広がりに対応し、「ネットいじめ」や「不適切な投稿」を防止するため、利用状況を見守りましょう。
- 子育てを母親任せにせず、父親も積極的に子育てに参画しましょう。
- 子どもが持っている良さを認め、長所を伸ばすとともに、暴力に頼らず、対話を通じて、協調性や社会規範意識を身につけさせましょう。
- 子どもたちに、様々な生き方や考え方があることを教えましょう。

3 地域の皆さんに期待すること

青少年を地域社会全体で育てていくという視点に立ち、地域の皆さんは、社会の一員として「大人が変われば子どもも変わる」ことを自覚し、青少年育成団体やNPO法人等関係団体とも連携して、積極的に青少年の健全な育成に関わっていくことを期待します。

【地域で子どもを育むこと】

- 「青少年は社会を映す鏡」であり、大人自身の行動が青少年に大きな影響を与えることを自覚しましょう。
- 大人自身が社会のルールを遵守し、子どもたちの模範となる行動をしましょう。
- 地域の子どもは、地域で守り育てていきましょう。
- 地域の子どもに積極的に話しかけ、地域社会におけるコミュニケーション能力を身につけさせましょう。
- 子育てをしている親子等を、地域全体でサポートしましょう。
- 子どもが善いことをしたときにはしっかり褒め、危ないことをした時や他人に迷惑をかけた時には勇気を持って諭しましょう。
- 買い物や散歩の際に子どもの様子を見守る「ながら見守り」に取り組みましょう。
- 地域社会での交流や体験を通じて成長できるよう、青少年を地域で行われる団体活動や地域活性化活動等に参加させましょう。
- 企業は、大人がPTA活動や地域行事等に参加しやすい環境を整備しましょう。
- 企業は、地域行事等に積極的に参加し、人材の提供や施設の開放等を通じて、地域での子育てを支援しましょう。